

PMMoV(P_{1,2})抵抗性ピーマン品種‘土佐Pレッド’の育成

細美祐子・澤田博正・新田益男・片岡明彦・松本満夫

Breeding of the PMMoV(P_{1,2}) Resistant Sweet Pepper Cultivar ‘Tosa-P-Red’

Yuko Hosomi, Hiromasa Sawada, Masuo Nitta, Akihiko Kataoka and Mitsuwo Matsumoto

要 約

トウガラシマイルドモットルウイルスの病原型1,2（以下PMMoV(P_{1,2}））に抵抗性をもつ完熟用ピーマンF₁品種‘土佐Pレッド’を育成した．この品種のPMMoV(P_{1,2}）抵抗性は‘Delgado’のもつL³遺伝子に由来し，L³遺伝子をヘテロにもつ．

‘土佐Pレッド’は標準品種‘土佐ひかりD’に比べ草勢がやや強く，一果重は重くボリュームがある．完熟果の果皮色は濃橙赤である．収穫果のA品率は‘土佐ひかりD’と同等で，収量性に優れ，促成栽培に適する．生産力検定試験および現地試験において，収量および品質が優れたことから有望と判断され，2006年8月に品種登録申請をした．

キーワード：ピーマン，土佐Pレッド，PMMoV(P_{1,2}）抵抗性，促成栽培，F₁品種